

平成30年度第2回 江別市民健康づくり推進協議会 議事録

■日 時：平成30年11月6日（火）午後6時30分～午後7時40分

■場 所：江別市保健センター3階会議室1号・2号

■出席者：大原宰、笹浪哲雄、角江信彦、新井進一、中川雅志、阿部実、伊藤洋子、小野寺久子、山崎雅江、伊藤亮子、飯尾雅士、伊藤祐子、古川孝行、松渕正一（敬称略）、事務局12名

■傍聴者：なし

□開会

□健康福祉部長挨拶

□議事

（笹浪会長）

それでは、次第に従いまして、議事を進めさせていただきます。

次第の3 協議事項の（1）についてであります。プランの中間報告、今までの取組結果の概要については8月に事務局から送付してもらっていますので、後期行動計画を中心に、資料の50ページまで事務局から説明願います。

（事務局）

【資料により説明：1から50ページまで】

（笹浪会長）

ただ今、事務局から第2次えべつ市民健康づくりプラン21の中間評価報告と、後期の行動計画の素案について説明がありましたが、委員のみなさまからご意見いただきたいと思えます。

よろしければ、私の方から。

42ページの「成人の喫煙率」と記載がありますが、これは国保加入者も協会けんぽ加入者も、特定健診の結果から得られた喫煙率ということでしょうか。

（事務局）

はい。それぞれ、特定健診の受診者の数値ということになります。

それぞれ、40歳以上の方になりますが、国保については74歳までの方となります。

(笹浪会長)

40歳以上ということは、20代や30代の方の喫煙率としては、把握できないということですか。

(事務局)

はい。アンケートなども取ってはおりませんので、40歳以上の方の特定健診の数値、ということになります。

ただ、小中学校への喫煙予防教室を実施する中で、児童・生徒に「家庭でたばこを吸う方がいますか」という項目を聞き取りしております。その中で、約40%程度が家庭でたばこを吸う家族がいる、という回答をしておりますので、協会けんぽ加入者の喫煙率41%の数値と近い結果になっています。

(笹浪会長)

かなり高い数値ですね。

(事務局)

北海道は喫煙率が高いという地域性がありますが、江別市でも若い世代の喫煙率が高い状況にありますので、働く世代の喫煙率を下げたいと考えています。

(笹浪会長)

その小中学校における聞き取り調査には、全てのたばこの種類を含む結果、ということなのでしょうか。紙巻たばこや電子タバコ、加熱式たばこなどありますが。

(事務局)

「たばこを吸っている家族がいるか」という形なので、種類は問わない形です。

ただ、小中学生からも「電子たばこ、加熱式たばこを吸ってれば健康への影響は少ないのか」といった質問も受けることがあるので、紙巻きたばこ以外のたばこを吸っている方の割合も増えてきているものと思います。

(角江委員)

42ページの⑤の「歯と口」についての目標などについて、2点ほど。

1点目として、例えば、学年ごとや地域ごとに未処置の虫歯の本数や処置済みの永久歯の本数などを統計化した「DMF指数」や「12歳児の一人当たりの『う蝕』の本数」などの統計を取っていないようですが、今後統計を取っていく予定はありますかという点。

2点目として、7月の第1回協議会的时候にもお話しさせていただきましたが、虫歯や歯周病は、歯を失う原因であるほかにも、認知症や生活習慣病の一因ともなっ

いることが分かってきていますので、その点についても計画に盛り込まれてはいかかでしょうかという点。

いずれの点についても、学校検診などの際に数値を取ったりすることで、歯科医としてもご協力することができると思っております。

目標を立てられても、統計を取らないと結果として見えてこない部分があると思いますので、統計を取って、何に取り組むべきかを記載するべきではないでしょうか。

(事務局)

ご意見、ありがとうございます。

保健センターで実施しています、1歳6か月児健診や3歳児健診時においては、虫歯の本数や口腔内の状況などの統計は取っているところですが、小学生以上となると教育部の管轄になるため、教育部の担当に確認させていただきたいと思えます。

また、歯周病が認知症などの要因ともなるという点については、本計画の中に追加で記載させていただきたいと思えます。

(角江委員)

ありがとうございます。

あと、乳幼児については、虫歯になることはほとんど無いと思えますので、小学生以上の全学年の統計を比較できると、我々歯科医のやりがいにもなりますので、よろしくをお願いします。

(笹浪会長)

角江委員、今は学校の歯科検診で統計を取っている状況なのでしょうか。

(角江委員)

統計を取っている学校と取っていない学校があるという現状だと思います。残念ながら、私が歯科検診で行っている小学校では、まだDMF指数は取っていない状況です。

養護教諭などが各校の検診結果をまとめてくれれば、統計化はそこまで難しいものではないと考えます。

全学年とは言わずとも、せめて12歳児の虫歯の本数などが統計化できれば、簡単に比較できるのではないのでしょうか。例えば、東京などでは、12歳児の虫歯は一人当たりで1本あるかないかですが、北海道ですと限りなく2本に近いという統計があると聞いていますので、北海道は虫歯が多い地域性があると思えます。

(笹浪会長)

貴重な意見、ありがとうございます。

あと、私から確認させていただきたいのですが、35 ページ記載の健康寿命ですが、平均寿命と比較するとかなり大きな開きがありますよね。

注釈にも、見直しが検討されていると記載されていますが、これは健康寿命という表現自体も変わる可能性があるということなのでしょうか。

(事務局)

はい。現在国保連合会の方で見直しをしているところと聞いておりますが、見直しの結果の公表は翌年度になると見込まれていますので、計画策定後に検討するかたちとなると思います。

(笹浪会長)

分かりました。

もう1点、17 ページの市民意識についてですが、アンケートの結果となっていますが、これは何人くらいのアンケート結果なのでしょうか。

(事務局)

毎年実施しているアンケートで、当該年度の対象の調査票の回答数は約1,000人程度となっています。

(笹浪会長)

7割程度が健康診査を受けている、というアンケート結果ということですね。

これは、国保の加入者の方で、年齢は問わないという形でしょうか。

(事務局)

国保以外の健康保険の方も含み、20歳以上の方という形です。

国保特定健診以外にも、職場の健康診断などを受けている方も、回答に含まれています。

(笹浪会長)

同じアンケート結果で、がん検診を受けている方の割合は4割程度と、やはりがん検診の受診率は高くありませんね。

職場のがん検診を受けている方もいれての結果ですから、がん検診の受診率を上げていかないとなりませんね。

ほか、20 ページの高度・中等度肥満傾向児の割合ですが、これはどのような計測方法で高度肥満や中程度肥満児を出しているのですか。BMIは児童・生徒にはそぐわないのではないかと思います。

(事務局)

身長、体重の数値に、学年ごとに一定の係数をかけて算出して肥満度を算出していると聞いています。

(笹浪会長)

分かりました。

ほかに、ご意見やご質問はありませんか。

(中川委員)

私から1点。

47ページと48ページに、後期行動計画の目標値が一覧で記載されておりまして、先ほどの説明で上期の取組結果で数値が悪化傾向にあるものもあるとお聞きしました。

その中で、がん検診の受診率ですが、受診率が低くなってきており、どのような考えで目標値を再設定されたのか、お聞きしたいのですが。

(事務局)

はい。がん検診については、商業施設からのバス発着や電話による受診勧奨などを進めています。国による無料クーポン事業の縮小もあり、厳しい実績となっています。検討の結果、当初に設定していた受診率の目標値からは、がんの種別によっては実現可能な目標受診率に設定し直しています。

胃がん検診については、現在、胃カメラ・内視鏡によるがん検診の実施に向けて協議しており、胃カメラの導入などで受診率の回復を目指しています。

ほか、子宮頸がんについては、お子さんの3歳児健診の際などに、個別に未受診者に対して子宮頸がんの受診勧奨を実施しており、その成果も出てきているところです。

また、乳がんについてはマンモグラフィーサンデーとして、日曜日に市内の医療機関においても乳がん検診を受けられるような取組を実施しており、そちらの推進などによって受診率の回復と上昇を目指していきます。

(笹浪会長)

なるほど。

胃の内視鏡による胃がん検診ですが、これは医師会の中でも協議しているところですが、バリウムは40歳以上が受診可能なことに対して、内視鏡では50歳以上となる事や、胃カメラの画像を全件で他の医師によるダブルチェックが必要になる事など、クリアすべき課題がまだ残っています。

近隣ですと、千歳市や苫小牧市、小樽市や札幌市も内視鏡による胃がん検診を導入していますから、他市の実施方法などについても検討していただきたいと思います。

それと、歯周病検診ですが、これは無料なのですか。

(事務局)

歯周病検診は、対象年齢の方は500円の自己負担で実施させていただいています。

(笹浪会長)

歯周病検診の受診率でみると、3%程度と低く感じますが、これは歯科に定期的に通われている方などは受診者に入らないという形になりますか。

(角江委員)

恐らく、会長がおっしゃるように、かかりつけとして歯科医に定期通院されている方は、歯周病検診として受診される機会が少ないと思うので、それも受診率が低く算出される一因かなと思います。

(笹浪会長)

わかりました。

他に、ご意見などはありませんか。

(阿部委員)

よろしいでしょうか。

22ページに、毎日野菜を食べている人の割合が示されていますが、ここでは、「食べる量」は問わない形となりますか。1日350グラム野菜を食べようという運動を進めておられますが。

(事務局)

はい。乳幼児健診の際に実施しているアンケート結果で、野菜摂取の量は問わず、毎日野菜を食べているかどうか、という内容になります。

後期の行動計画においては、現在分析中の野菜摂取の実態調査結果を基に、1日の推定野菜摂取量を目標指標に変更しようと考えております。

また、野菜の摂取量を増加しようという内容については、後ほど野菜摂取のアクションプランの案の中で、ご説明させていただきます。

(笹浪会長)

それでは、他にご意見やご質問などはありませんでしょうか。

(委員)

なし。

(笹浪会長)

計画案について、また皆様には読み返していただきまして、ご意見があれば後日でも構わないということですので、意見書として提出していただければと思います。

事務局には本日のご意見や、意見書による内容について十分留意されまして、計画策定を進めていただきたいと思います。

では、引き続き資料 51 ページからの生活習慣病予防に向けた野菜摂取アクションプランについて、事務局から説明願います。

(事務局)

【資料により説明：51 から 58 ページまで】

(笹浪会長)

ただ今、事務局から野菜摂取アクションプラン素案の説明がありまして、今年実施した「江別市民の食と健康に関する実態調査」の結果は分析中ということで、結果が出ましたら具体的な数値を示されるということでしたが、まず私の方からよろしいでしょうか。

58 ページの目標指標は「1 日の推定野菜摂取量」の一つのみになりますか、それとも年代ごとの摂取目標などにするのでしょうか。あと、実態調査はどのような年代の市民に実施したのでしょうか。

(事務局)

実態調査は 20 歳以上の市民 3,000 人に実施いたしまして、うち 1,627 人から回答を得ております。

目標の指標としては、市民全体で一つのみと考えています。

(笹浪会長)

実態調査自体が、大人用のものということですか。

(事務局)

はい。BDHQ という調査手法をとっておりますが、子供用の調査様式は大人用とは別にありますが、今回は大人用のみで調査いたしました。

また、この実態調査は初めての調査になりますので、年代ごとや性別ごとでの傾向がどのように出てくるのか、今後どのように推移していくのかといった予測が難しいことから、市民全体で一つの目標指標と考えております。

(笹浪会長)

わかりました。

ほか、委員からご意見やご質問ありませんか。

(角江委員)

よろしいでしょうか。

57 ページの③にある、世代に応じた野菜摂取推進という取り組みは非常に良いと思います。

例えば、になります。野幌の歓楽街の夜の飲食でも、江別ブランドの野菜をふんだんに使ったメニューを提供してもらうなど、飲食店さんとのタイアップイベントなどを検討してみてはどうでしょうか。小樽市にあんかけ焼きそばのように、みんなで楽しく野菜を食べてもらえるようになるとよいのですが。

ご高齢の方への「ふれあいレストラン」ですとか、大学で実施されている生活応援レシピなどの取組も大事ですが、「働くお父さん世代」を対象とした取組を強化してはいかがかなと。

私も夜に飲食に出ることがありますが、その時は肉や魚といった食事が多くなりがちだと思いますので、いかがでしょうか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。

野菜を食べてもらう環境づくりが重要であると認識しておりまして、スーパーや小売店、飲食店との連携についても進めてまいりたいと思います。

(笹浪会長)

ありがとうございました。他にご意見やご質問などはありませんでしょうか。

(委員)

なし。

(笹浪会長)

では、野菜摂取のアクションプランについても、後日でもご意見があればお寄せいただきたいと思います。

では、引き続き資料 59 ページからの江別市自殺対策計画の案について、事務局から説明願います。

(事務局)

【資料により説明：59 から最終 67 ページまで】

(笹浪会長)

ただ今、事務局から自殺対策計画素案について説明がありましたが、委員からご意見やご質問はありませんか。

(阿部委員)

よろしいですか。

自殺の認定は警察が行うのでしょうか、それとも医者が行うのでしょうか。

(笹浪会長)

自殺か他殺か、ということになると警察のほうで認定することと思いますね。

(事務局)

自殺の統計、ということになりますと、警察庁のものから引用するものでなりますので、警察で自殺と判断したものが統計にあがってくるものと考えます。

(笹浪会長)

自殺の問題となると、非常に難しいものになるのではないかと思います。国のガイドラインや手引きに沿って、計画を策定して対策を進めていただきたいと思います。

66 ページの重点施策の中に、企業や事業場へのメンタルヘルスをはじめとする健康教育を推進する、とありましたが、これは事業場の規模などに指定はあるのですか。

(事務局)

我々が健康教育に赴いてメンタルヘルスに関する講話などを実施する場合は、事業場の規模の大小は問わずに取り組んでいきます。

(笹浪会長)

わかりました。

他にご意見などはありませんか。

(阿部委員)

同じく 66 ページの重点施策ですが、高齢者の居場所づくりによる地域との繋がり
の構築を進めるということですが、私は自治会の立場から、同じく参加の伊藤委員は
高齢者クラブ連合会の立場から参加させていただいていますけれども、ご高齢の方は、
高齢者クラブに入っただくことが一番の地域の繋がりづくりになると思います。

仲間もできて、相談もでき、交流の輪も広がっていきますので、多くの方に高齢者
クラブに入っただくこと、地域活動を進めていただきたいと思いますので、各
方面でもお声かけいただけると幸いです。

ただ、年々高齢者クラブの会員は減少しておりまして、今は3,700位の会員数ですけど、毎年100人前後が減少していて、ご高齢の方は増えているのに、高齢者クラブに入っている方は減っている状況です。

江別市の課題の中に、ご高齢で同居親族がいる方で自殺される割合が比較的高いとありましたが、私も同居している親族がいますが、歳をとってくると、子の邪魔になってしまうと感じている方が多いのではないかと思います。

そういった意味でも、高齢者の居場所づくりは重要なことだと思いますので、我々も積極的に協力いたしますので、よりよい取組をお願いします。

(笹浪会長)

ご意見とご要望ありがとうございます。

ちなみに、高齢者クラブは何歳から加入できるのですか。

(阿部委員)

60歳からになります。

(笹浪会長)

60歳ですと、今では若い方になるのかもしれませんがね。

高齢者クラブさん、という名前もいろいろお考えされてもいいかもしれませんね。

他にご意見ありませんでしょうか。

(中川委員)

66ページの目標指標として、2022年に自殺率16.0とありますが、これは国の大綱に沿った形で推進されていくという理解と思いますが、必ずしも数値で示さなくてはならないものなのではないのでしょうか。

現実的に、残念ながら江別市において自殺者がいるということは分かりますが、「限りなくゼロに近づける」といった目標指標などはどうでしょうか。

統計は統計として、自殺率を示すこともできると思います。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。

確かに、自殺者をゼロに近づけることが望ましいと思います。

先ほどの説明の中でも触れさせていただきましたが、国の大綱や北海道の自殺対策の計画としても、一定の指標、目標を設定しておりまして、市としても減少させる、という内容ではなく、国や北海道の目標と整合性を取ったうえで自殺率16.0を目標として定め、それ以上に自殺者数を減少させていくという計画としたいと考えています。

(笹浪会長)

他の計画や施策などでも、よく類似の人口 10 万人規模の自治体との比較をされていますが、ご高齢で同居親族がいる方の自殺割合が高いというのは、江別の特徴になるのでしょうか。

(事務局)

全国的な状況で、国として課題に挙げているのは若年者の自殺対策です。若年層の死亡原因の第一位が、自殺であるという現状です。

男女別の割合で見ていくと、国も北海道も男性が約 7 割、女性が約 3 割程度ですが、江別で見ますと男性が約 6 割、女性が約 4 割と、男性の自殺者の割合が少し低くなっています。

また、自殺総合対策推進センターによると、江別市の自殺者のうち、60 歳以上の方で無職、同居親族ありの方の自殺割合が高いと示されており、北海道の同対象と比べても高い割合となっています。

(笹浪会長)

なかなか難しい問題ですね。

ほか、全体をとおして何かございませんでしょうか。

(委員)

なし。

(笹浪会長)

それでは、健康づくりプラン 21 の後期計画、野菜摂取アクションプラン、自殺対策計画のそれぞれの素案について、ご意見があれば後日でも意見書でお寄せいただければと思います。

次に、その他として、事務局から何かありますか。

(事務局)

7 月の協議会でも予定としてご報告させていただいておりました、健康フェスタ 2018 について、開催結果をご報告させていただきます。

9 月の震災の影響を受け、中止となるイベントがある中ではありましたが、9 月 30 日の日曜日に無事に野幌公民館において、健康フェスタを開催することができました。

本協議会委員の所属団体からも、健康チェックのブースなどに出展いただきまして、全体で 420 人の方にご参加をいただいたところです。

皆様にも多くのご協力をいただいたことに、重ねてお礼を申し上げます。

(笹浪会長)

ありがとうございます。

それでは、議事は全て終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

(事務局)

閉会

(了)